

令和元年5月30日

御嵩町議会

議長 山田儀雄様

新庁舎整備特別委員会
委員長 高山由行

新庁舎整備特別委員会最終報告書

本委員会に付託されている事件に関し、これまでに行ってきた調査研究についての報告をします。

1. 経過

平成28年9月1日に当特別委員会を設置し、令和元年5月14日までに、協議会を21回、特別委員会を17回開催し、住民懇談会、町執行部及び新庁舎建設プロジェクトチームとの意見交換会を行い、その他各種調査・研究を積み重ねてきました。

平成28年12月8日に第一次中間報告として、庁舎の現状や現庁舎の課題、また特別委員会の経緯を報告し、①求められる庁舎について（新庁舎への期待）、②新庁舎の建設場所について、③今後の新庁舎建設の進め方について取りまとめを行いました。その結果、新庁舎は新築移転すべきとの方向性を示しました。

平成29年12月8日の第二次中間報告では、新庁舎建設候補地のメリット・デメリットの整理並びに候補地の評価を行い、21号バイパスエリアの優位性を高く評価し、「新庁舎候補地の評価結果」を全会一致で当特別委員会の結論として位置付けることとしました。

詳細は、別添「新庁舎整備特別委員会調査の経緯等」参照。

2. 最終まとめ

今後、町においては、町民の意見も十分に参酌し、新庁舎の建設にスピード感を持って押し進めていただくことを求めます。

議会としては新庁舎の完成及び供用開始まで、引き続き町が進める基本計画・基本設計や実施設計等の点検、検証並びに議会関係施設の調査・研究を積極的に行っていくためにも、当特別委員会の存続を切望することを申し添え最終報告といたします。